



みみだより

No.40

鳥取聾学校ひまわり分校

聴能担当

R4.11.11

文責：手島

2学期の最大の行事、ひまわり発表会が無事に終わりました。子どもたちの成長した姿をしっかりと見ていただけたことと思います。気づけばもう11月の半ば。2022年の終わりに見えてくる頃となりました。冬の足音もきこえてきます。風邪などひかないよう、元気に過ごしていきたいですね。



補聴器の電池チェック できていますか？



今月と来月、2回に分けて補聴器や人工内耳の取り扱いの配慮について紹介します。今月は『補聴器用電池の取り扱い』についての紹介です。補聴器には、補聴器専用の空気電池を使います。空気電池にはプラス面に小さな穴があいていて、シールをはがして穴から空気を取り込むことによって発電する電池です。補聴器の機種によって使用する電池が異なり、その電池の種類は電池に貼ってあるシールの色でわかるようになっています。

シールの色	黄色	茶色	オレンジ	青
電池の種類	10A (PR536)	312 (PR41)	13 (PR48)	675 (PR44)



人工内耳用

人工内耳の場合は、充電電池か空気電池を使います。空気電池を使用する場合は、人工内耳用の、よりパワーの強い電池を使います。

* 補聴器用電池 冬に気を付けることは？ *

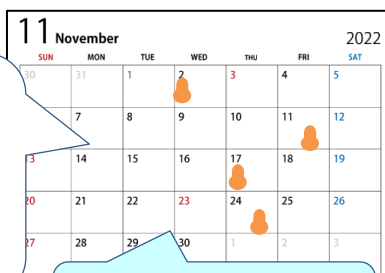
- ☑温度が低いと反応が遅くなるためシールをはがしてから30秒から1分ほど待ってから補聴器に入れる。
- ☑乾燥すると電池の寿命が短くなるため、補聴器を保管するときは電池を取り出してから乾燥ケースに入れる。
- ☑二酸化炭素によって寿命が短くなるので、石油・ガスを燃焼させるストーブなど二酸化炭素が発生しやすい環境では換気をこまめに行う。
- ☑電池のシールは、一度はがすと放電が始まり消耗していくので、使う直前までシールをはがさないようにする。



補聴器用電池は冬に弱い！？

特に冬は上記の条件が当てはまることが多いので、補聴器の「電池の持ちが悪くなった」と感じる方が多いです。

電池を交換したとき、はがした電池のシールをカレンダーに貼っておくと、だいたいの使用期間がわかるようになりますよ！



右側には右の補聴器の電池
左側には左の補聴器の電池

ワンポイント 手話



「寒い・冬」



「かえる・交代する」

「おやこ手話してん」より

